

開館20周年記念企画展

美術館がうまれて、それから

ーコレクションと石見美術館の20年ー

2025年12月20日（土）～2026年2月23日（月・祝）

島根県立石見美術館 展示室D

島根県立石見美術館の開館20周年を記念して、「石見美術館」をテーマとした展覧会を開催します。当館は、1980（昭和55）年前後より始まった美術館建設ラッシュが過ぎ去って以降の2005（平成17）年に開館した、比較的新しい県立美術館です。また、2つ目の県立美術館として、島根県立美術館とは異なる収集方針「森鷗外ゆかりの美術家の作品」「石見の美術」「ファッション」を設定し、特色あるコレクションを形成してきました。本展では、約80点にのぼる当館選りすぐりの作品や、開館までの歴史を語る資料などをおして、後発の地方公立美術館として石見美術館が歩んできた20年を振り返ります。



岡田三郎助《黒き帯》1915年

みどころ① 絵画や彫刻からファッションまで、当館コレクションを一挙公開

絵画や彫刻から服飾作品まで、当館が収集している作品のジャンルは非常に多岐にわたります。3つの収集方針に基づく章立てのもとに、できる限り多くのジャンルの作品をご紹介しますことを目指した本展では、当館のバリエーション豊かなコレクションを一度に見ることができます。

みどころ② 誰もが知るファッションデザイナーの貴重な作品を多数公開

ガブリエル・シャネル《イヴニング・ドレス》、ジャンヌ・ランヴァン《ドレス》、ヴィヴィアン・ウエストウッド《「18世紀スタイル」イヴニング・ドレス》など、ファッション界を現在までリードする有名ブランドをつくり上げた、著名なデザイナーたちの貴重な作品が一堂に会します。

みどころ③ グラントワの大型模型

今夏、渋谷ストリーム ホールにて開催された展覧会「建築家・内藤廣 赤鬼と青鬼の場外乱闘 in 渋谷」のために制作されたグラントワの大型模型を特別に展示します。実際の建物と比較しながら、グラントワの建築を知ることができます。

関連プログラム（予定） ※詳しくは当館ホームページ等でお知らせします。

◎当館設計者・内藤廣による建築案内&講演会

講師：内藤廣（建築家・東京大学名誉教授・多摩美術大学学長）

● 1月16日（金）18:30－19:30

美術館の閉館後、グラントワの大型模型を囲んでの建築案内を開催します。

● 1月17日（土）14:00－15:30

数々のミュージアムの設計を手がけてきた内藤廣さんより「美術館建築」をテーマにお話しいただきます。

◎ワークショップ

講師：野村勝久（グラフィックデザイナー・九州大学准教授）

● 2月14日（土）14:00－16:00

当館広報物のデザインを多く手がけてきた野村勝久さんを講師に、これまでの企画展チラシを使ってロゴマークをつくります。

● 展示構成 ●

1. 石見美術館のはじまり

石見美術館の作品収集は、1999（平成11）年度より始まりました。本章では、当館がはじめて収集した石見美術館のはじまりともいえる4作品ー岡田三郎助《黒き帯》、藤田嗣治《青いドレスの女》、東郷青児《婦人像》、岡野洞山美高《竹林七賢・商山四皓》を展示します。

2. 森鷗外と日本近代美術

津和野出身の文豪・森鷗外は、軍医として働く傍ら、美術に関する諸制度の成立にも貢献しました。本章では、当館の収集方針「森鷗外ゆかりの美術家の作品」に基づいて収集された作品を展示し、原田直次郎をはじめとする作家らと鷗外とのかかわりについてご紹介します。

3. 「石見」の宝物をつなぎとめる

当館の設立が求められた理由のひとつに、それまで文化財や美術品を保存し研究するための県立施設が無かったために、石見ゆかりの品々が地域外へ流出していることへの憂慮がありました。本章では、当館の収集方針「石見の美術」に基づいて収集された石見ゆかりのコレクションをご紹介します。

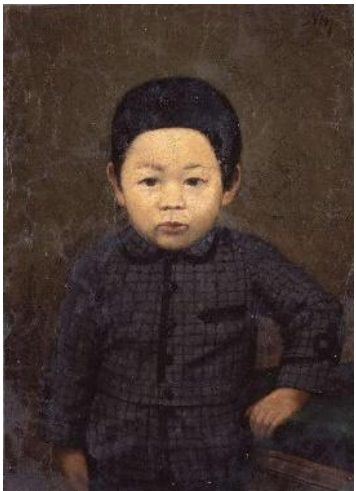
4. 「ファッション」を美術館へ

本章では、当館の収集方針「ファッション」に分類されるコレクション作品を紹介しながら、石見美術館が「ファッション」をどのように捉えて収集してきたかを概観します。さらに、日本においてファッションを扱う美術館が未だ少なかった開館当初から、ファッションの展覧会が多く開催されるようになった現在にいたるまでの間、石見美術館が果たしてきた役割がどのようなものであったかを考えます。

5. これからの石見へ向けて

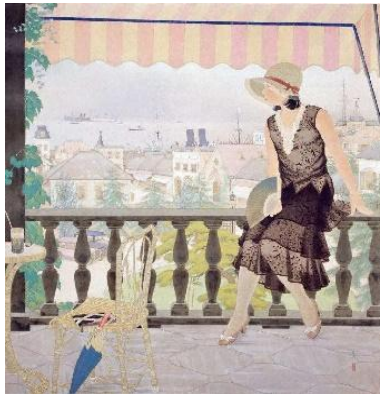
石見美術館は現在にいたるまで収集活動が続けています。本章では近年収集した作品を紹介し、これからの石見美術館が担っていく役割について確認します。

● 掲載作品はすべて島根県立石見美術館蔵



原田直次郎《男児肖像》
製作年不詳（1887～96（明治20年代）頃）

狩野松栄（画）、如水玄勲（賛）
《益田元祥像》
16世紀（桃山時代）
重要文化財【前期展示】



山田喜作
《真夏の港》
1932（昭和7）年



ガブリエル・シャネル
《イヴニング・ドレス》
1925(大正14)年

主催 島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、日本海テレビ
特別協力 内藤廣建築設計事務所
後援 芸術文化とふれあう協議会
開館時間 9:30～18:00（展示室への入場は17:30まで）
休館日 火曜日（2025年12月28日（日）～2026年1月3日（土）まで休館）
観覧料 当日券 一般 800（650）円、大学生500（400）円、高校生以下無料 *（ ）内は20名以上の団体料金
前売券 一般750円、大学生450円
問い合わせ 〒698-0022 島根県益田市有明町5-15
島根県芸術文化センター「グラントワ」内 島根県立石見美術館
TEL 0856-31-1860 FAX 0856-31-1884（代表）
e-mail: grandtoit@cul-shimane.jp
https://www.grandtoit.jp 担当：大谷、川西、角野（学芸） 野村、上野（広報）